

2005 年度 SO 日本・スポーツプログラム委員会
フライングディスク競技作業部会 第 1 回会議

日時： 2005 年 6 月 1 2 日（日）10:00～

場所： （株）ディスクスポーツ・熊本市

出席者： 横田（熊本）、中町（高知）、高田（熊本）、まつもと（山口）

1．作業部会の作業内容の方針

- スペシャルオリンピックス日本・フライングディスク競技の創設
- ・SON のスポーツ戦略・知的障がい者（アスリート）を取り巻く状況（フライングディスクの実施）
- ・障害者フライングディスク（JFFD）競技からフライングディスク（JFDA・WFDA）競技への橋渡し
長期的には、スポーツによるバリアフリー・・・ユニバーサルデザイン種目へ
短期的には、既存障害者 FD 実施競技種目から発展させる種目へ。
- ・SON から世界に向けて
趣旨について説明し、合意、作業内容を確認した。
高知県障害者 FD の試験的導入種目の紹介（中町さん）

2．作業内容

1) 競技種目の選定

障害者 FD の種目と特性、実際の普及状況、所来的展望等を協議し、現時点での競技種目として「ディスクゴルフ」でのコースラウンドを主たる到達目標（普及推進）競技とし、個人スキルテストには、下記の 3 種目を選定する。

ディスタンス： 飛距離を競う。スローイング技術の総合的評価

アキュラシー： スローイング技術の正確性を競う。4 投×3 カ所

パット&アプローチ： スローイング技術の巧緻性・調整力を競う。

2) 競技種目解説書、ルールブックの作成・監修

原則として、世界フライングディスク連盟（WFDF：日本フライングディスク協会翻訳）のルールを適用するが、他競技種目と同様、SON からの提案としてアスリートの特性や現場の状況に配慮して、個別に対応する箇所（Local Rule）や個人スキルテスト等について決定していきたい。

なお、別紙にルールおよび競技種目解説案を提示する。

3) 普及活動時（CC）のマニュアル作成

当面の普及活動については、JFDA、JFFD および（株）ディスクスポーツが作成する既存資料が SON で活用できるよう取り計らうよう検討する（組織連携と使用承諾の確認）。

例：（株）ディスクスポーツが運用するホームページ上にある技術書 www.discgolf.jp の活用とリンク等

4) FD 競技の活動実態の調査・把握（アスリート・コーチ）

作業部会としては、当面の CC トレーナー養成を急務とする。9 月に熊本 CC を開催予定であるので、その際にできないか？

5) 今後の作業計画

06SON ナショナルゲーム・熊本大会（2006/11）で SON・FD として実施できるよう作業をすすめる。当面、SON 熊本地区大会（熊本招待・プレ大会：2005/11）に試験的に実施可能な競技種目を提案する。

6) その他

- ・諸外国で障害者スポーツとしての FD 実施率や普及可能性は？